

がら前向きに検討していきたい。

問) 都市マスの基本方針に「歩道や歩行者中心の道路整備」とあるが、全くなおざりになっている。道路の危険性や不便さは、市民満足度や生活の質・生命や安全にも重大な影響を及ぼすまちづくりの欠陥にもなる。今後どのように具現化・具体化・実行していくのか提示せよ。

都市計画担当部長) 都市マスの改定等で、まちづくりのプロセスを明示し、実効性のある計画にしたい。生活道路では車の通過速度の低減・道路構造の工夫に努めていきたい。

問) 道路行政は予算がかかるが、行政側ができないと決めつけてやろうとしない現状は、市民自治に反する。地域課題や市民ニーズを的確に把握し改善につなげるため、①道路全般に関する意見や要望、苦情や相談の受付窓口を拡充し、電話以外にもメールやファクスでも受けよ。②縦割り是正に向け、道路＝地域福祉の観点から庁内連携を図ること。③市民意見や要望等を詳細に分類しデータ化することを求める。

都市建設部長) ①広報に努めていきたい②庁内で共有したい③意見について、内容の精査・把握・分類をし、政策や整備に生かしていきたい。

問) 恋ヶ窪樹林地を活用し、子どもたちが多様な生物と向き合い自然の大切さを学べる機会を。子ども福祉部長) 都市建設部と整理をし、可能であれば展開する方向で考えていきたい。

問) 中央線連続立体交差事業に伴う公租公課分(国立駅北口周辺)の活用については、企画及び運営主体者を公募し、市民参加で選定せよ。

都市計画担当部長) 実施の手法を検討したい。

が、それでは今日まで枠配分の考え方の編成で輝かしい顕著な例をお示しいただきたい。

市長) それぞれの主管課で努力してもらって、経常経費の削減や政策的経費の調整とか進めてきたことは総体としては言えるが、反面その年その年想定していないような事業が発生する等結果的に枠をオーバーする面もある。

甲斐) もう一步踏み込むと、事務事業の点検結果(施策の優先順位と事務事業の見直し基準による事務事業評価)がなされているはずだが、その見直し基準により、編成方針にも『事業の廃止、縮小、統合、再構築を徹底的に進めること』毎年記されているが、そのようなスクラップ&ビルドが劇的に成功した例をお示し下さい。

副市長) ダイナミックな改革はここで表明できるものはない。

甲斐) 全く成果が無くて唱え続けているのか? 副市長) 少なくとも行政効果の薄いと思われる現金給付(高齢者見舞金、敬老金)の廃止、人件費総体、職員数削減を進めた。

甲斐) 人件費を挙げるのは違う。つまり、星野市政で勇しく枠配分、事務事業評価で施策の組み換えだと毎年言っても成果が上がっていない証だ。政策の再構築、形成能力がない事を露呈している。それゆえ財政危機宣言発令レベルだ。

国立駅南北連絡通路に自転車も通行可にせよ! 現況自転車は降りても通行不可と記されている。早急に改善がなされるよう調整を求めました。(要請し、1月13日から走行は禁止で降車通行は可能になると後日委員会で報告がありました)

甲斐) 高齢者生きがい事業は高齢者相談室ひとつの課が担うのではなく、公民館、地域センター、公園、学校、社会教育・スポーツ振興課等横断的に施設、英知を利用すべきと訴えました。

市長=弁解のしようがなく私の責任を自覚する。木村=ミスを繰り返す職員にはペナルティ等の仕組みも必要だ。まずは勤勉手当が全職員満額支給という状況を是正すべきだ。

市長=庁議に指示し、3月議会に同様な事態が発生しないよう急いで対応すべき事柄と認識している。(※「議案」は条例や予算、契約や裁判案件等、極めて重要であるにも関わらず、その意識が希薄です。またこの時点で他にも多くのミスが木村は発見しており、結果、定例議会最終日に4常任委員会中、3委員会の付託議案の差し替えが更に生じました)

木村=前回、前々回の一般質問にて、ぶんバス北町ルートに関し問題の整理を行ったが、具体的に進まないのは市長の表明がないからだ。

市長=最終的な担当部からの検討結果を受けて、来年度あるいは近い将来できるか判断したい。(※その後の担当部長答弁で出た課題は「収支」でした。運賃等の各論の議論で解決できます。早期実施に向けて議論を詰めて参ります)

木村=北口再開発に関し、市の担当事務所内の部屋を委託業者に無償貸与しているのは問題だ。

都市開発部長=行政財産の目的外利用の承認は取っていたが、来年度以降は業者に確保させる。

木村=もとよりごみの有料化には反対の立場であるが、一方では前回も議論したペットボトルの戸別回収は未だ行っていない。

環境部長=収集委託料の問題等が発生する。市民の意見をワークショップで聞いていく。

木村=市はごみの収集処理費用は市民に負担を求め、一方でペットボトルを回収せよと言及したら、費用がかかるから、とは矛盾している。ワークショップ参加者も数十名程度だ。多くの市民が関わる問題だからこそ市の意思を明確にすべきだ。(市は「ごみ減量化の為の有料化」と言いながら、実際は財政難の市民へのツケ回しであるために論理的な答弁ができません)

音声配信について

市議会では、平成24年11月28日からの第4回定例会で行われた「一般質問」の模様を、本会議録が完成するまでの間(2月20日予定)、国分寺市議会のホームページで音声配信しております。ぜひご活用ください。 議事担当(内468)

事業のスクラップ&ビルド(改革)は進まず



無党派(無所属) 甲斐 よしと

甲斐) 来年度の予算編成にあたり、今日から見た過去を検証、評価する必要がある。25年度予算編成方針も従来と変わらず枠配分予算により担当部の創意工夫や、枠の中で主体的な裁量を与えることで、市民的にも財政的にもメリットのある施策を政策的に形成していくとのことだ

市のずさんな事務執行が多発! 意識改革を!



政策市民会議国分寺 木村 徳

木村=議会初日にミスによる議案の差し替えに関して市長からお詫びの発言がなされながら、今日までに更にミスが発覚した。

賛否の分かれた議案に対する議員の表決結果

Table with columns for '議案名' (Proposal Name) and '議員名' (Member Name). Rows include proposals 113, 114, 115, 121, 132, 133, 134, 140, 141, 147, 150, 151. Columns list members: 楠井まこと, 田中政義, 本橋たくみ, 新海栄一, 井沢邦夫, 須崎宏, 高橋りょう子, さの久美子, なおの克, 木川たかし, 皆川りうこ, 木村徳, 三葛敦志, 及川妙子, 幸野おさむ, 岡部宏章, 中山ごう子, 片畑智子, 高瀬かおる, 岩永康代, おざわ脩, いたう太郎, 釜我健二, 甲斐よしと.

・表決 (○=賛成 ×=反対 退=退席)
・会派名 (政策市民=政策市民会議国分寺、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク)